

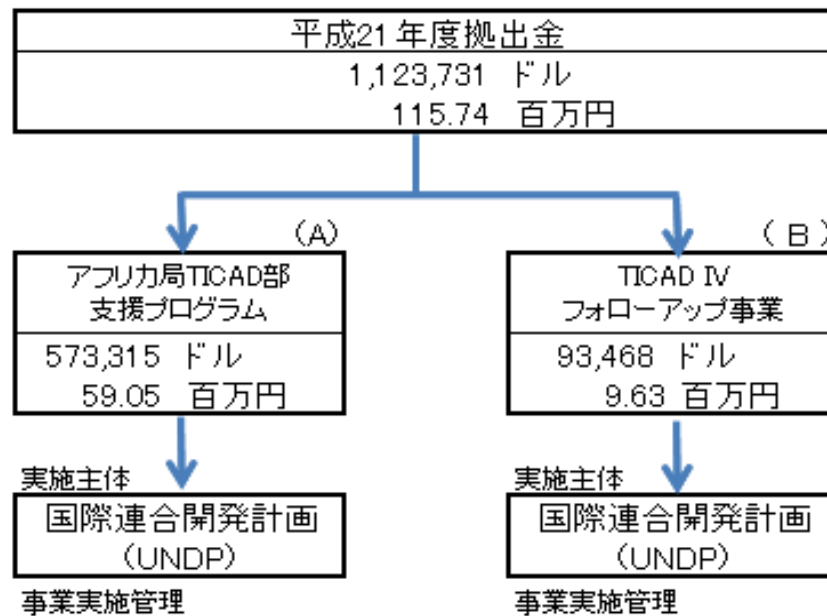
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アジア・アフリカ協力基金拠出金(任意拠出金)	担当部局庁	中東アフリカ局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度開始。平成23年度より「国際連合開発計画拠出金(TICADプロセス推進支援)」に変更。	担当課室	アフリカ第二課	課長 齋田 伸一				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、通知等	第20回国際連合総会決議2029					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成22年度までは、我が国の対アフリカ外交資産であるアフリカ開発会議(TICAD)プロセスが開始当初から重視してきたアジア・アフリカ協力の具体的推進を目指してきた。TICADプロセスの進展を受け、平成23年度からは「TICADプロセス推進支援拠出金」として、TICADプロセスをマルチの取組として促進するとともに、TICAD行動計画に従った具体的取組を推進し、TICADプロセスの効果的・効率的な運営、およびアフリカ地域機関の能力強化と我が国との関係強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	これまでAA基金では、主にアジア・アフリカ協力の推進を目的とした各種プロジェクトの実施を通じ、TICADプロセスの推進を図ってきた。 今後は、アフリカ諸国及びアフリカ地域機関を対象に、TICAD共催者であるUNDPのノウハウやネットワークを活用し、TICADⅣの重点項目の1つである「成長の加速化」にプライオリティを置きつつ、二国間での協力を進めにくい貿易・投資・観光等の分野に焦点を絞ったプロジェクトを実施。また、同じくTICADプロセスが重視するアフリカ地域機関との協力強化やそのために必要な能力強化に資する案件を実施する。 また、国際社会、特にアジア・アフリカ諸国において、TICADの成果をより可視的なものとするため、TICAD関連会合の準備・フォローアップ推進のための各種事業やTICADプロセスの成果に関する広報活動等を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	121	116	92	76	72	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	121	116	92	76	72	
	執行額		121	116	92	平成22年度まではAA基金の金額。平成23年度からはTICADプロセス推進支援拠出金。		
	執行率(%)		100	100	92			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	目標:貿易・投資分野を中心とするTICADプロセスの推進 実績:日本の対アフリカ直接投資残高(5か年平均) (目標値は2012年末時点で34億ドル)【参考指標】		成果実績	億米ドル	33	42	未集計	34
			達成度	%	97	124	未集計	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	TICADプロセスの推進に資する事業を各年度につき1件以上実施する。		活動実績 (当初見込み)	件	2 (1件以上)	2 (1件以上)	2 (1件以上)	— (1件以上)
単位当たりコスト	55 (百万円/事業)		算出根拠	20年度 121,363千円 21年度 115,744千円 22年度 92,292千円 計 329,399千円 ÷ 6事業				
平成23年度 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事業費	76,249	71,965	拠出額減額				
	計	76,249	71,965					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	N/A	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	所管部局による点検欄はAA基金に対するもの
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	アジア・アフリカ協力基金拠出金として拠出した平成22年度は効率的資金運営を目指した体制改編に時間を費やし、また、資金の効果的使用を目指し事業計画の大幅な見直し作業を行っていた。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	N/A	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成21年度の事業仕分けの結果を踏まえ、より効率的・効果的な資金の使用を目指し、事業内容及び実施体制の見直しを行った結果、平成22年度の案件実施は見送り、より効果的な事業実施が出来るよう「アジア・アフリカ協力基金拠出金」を大幅に改訂。今後はより適正な資金管理の下、より効率的・効果的な使用を目指し、TICADプロセス本体の進展に合わせ、同プロセスのより具体的な推進を目指す事業内容とし、実施体制も大幅に改革して、平成23年度からは「TICADプロセス推進支援」として拠出することとした。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		拠出額減額	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(拠出額減額)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
「アジア・アフリカ協力基金拠出金」が事業仕分け第1弾の対象となり(事業番号2-50-(3))、国際機関等への任意拠出金は全体として「見直しを行う」との評価を受けた。 1 我が国は、93年に「第一回アフリカ開発会議」(TICAD I)を開催して以来、TICADプロセスを一貫して対アフリカ外交の基軸とし、積極的に取り組んでいる。特に、アジアの開発経験をアフリカでも活用すべく、アジア・アフリカ協力を重視してきた。 2 TICADプロセスを通じた我が国の外交イニシアティブ及びその具体的取組は、アフリカ諸国をはじめ国際社会に高く評価されている。世界の国数の約1/4を占めるアフリカ諸国は、国際社会において大きな政治的影響力を有しており、国際場裡における我が国の立場を強化するためにも、今後も同プロセスが、我が国とアフリカ諸国との関係強化・推進に果たす影響力は大きい。 3 本基金の拠出先であるUNDPは、国連システムの中の主要な開発機関であり、国際場裡での発言力及びプレゼンスが大きい。また、UNDPはアフリカの全ての国(53か国)に事務所を設けている(アフリカ地域における我が国の大使館数:32)。したがって、同機関を通じて事業を実施することにより、同機関の知見やその強大なネットワークの活用による有効な案件実施やより効果的な広報が可能となり、TICADプロセスがマルチの取組として認識されることに役立っている(中国や韓国、インド等はバイドアフリカ支援会議を実施しているが、こうした方法は国際的に必ずしも歓迎されていない部分がある)。			

※平成22年度実績を記入

(\$1 = 103 円)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	P5, P4, G6: 各1名	58			
	外部契約(随 意契約)	アメリカンエクスプレス社(米国)渡航 手配費	1			
	計		59	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外部契約(随 意契約)	アメリカンエクスプレス社(米国)渡航 手配費	3			
	外部契約(随 意契約)	アフリカ現地旅行社、渡航手配費	2			
	随意契約	UNOPS(アフリカ・インベスター誌(南 ア)記事掲載費	1			
	随意契約	UNOPS(ドキュメンタリー映像の作成)	1			
	外部契約(随 意契約)	アメリカンエクスプレス社(米国)渡航 手配費	1			
	外部契約(随 意契約)	アフリカ現地旅行社、渡航手配費	1			
	計		9	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 国際連合開発計画(UNDP)アフリカ局TICAD支援プログラム

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定個人	人件費	58		
2	アメリカンエクスプレス社	渡航手配費	1		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 国際連合開発計画(UNDP)TICADIVフォローアップ事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アメリカンエクスプレス社	渡航手配費	4		
2	アフリカ現地旅行者	渡航手配費	3		
3	UNOPS	記事掲載費, 映像作成費	2		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					